

ホクレン・ディスタンスチャレンジ始まる!

7.4[±]

千歳大会

千歳市青葉陸上競技場

ホクレン・ディスタンスチャレンジ2026

毎夏恒例の「ホクレン・ディスタンスチャレンジ2026」の開幕戦となる千歳大会が開催され、3名の選手が出場しました。

上田選手は、なかなか状態が整わず苦しい時期が続いていましたが、今大会も万全とはいえないコンディションの中で集団の流れにうまく乗り、後半の苦しい場面でも我慢強い走りを見せ、復活に向けた大きな一歩となるレースでした。

昨年末の骨折から復帰し、今季3戦目を迎えた中川選手は、昨年の実績により持ちタイムの速い選手が集まる組で出場しました。強風の中、ハイペースで進むレースに少しずつ順位を下げたものの、しっかり対応しながら粘りの走りを見せ、今季初戦から着実に記録を伸ばして、状態を戻していることを証明しました。

鈴木樺連選手は今シーズン良好な状態を維持してきましたが、大会直前に体調を崩した影響もあり、本人にとって納得のいかない結果となりました。悔しさの残るレースとなりましたが、次戦ではコンディションを整え、記録更新に挑みます。

女子
3000mB

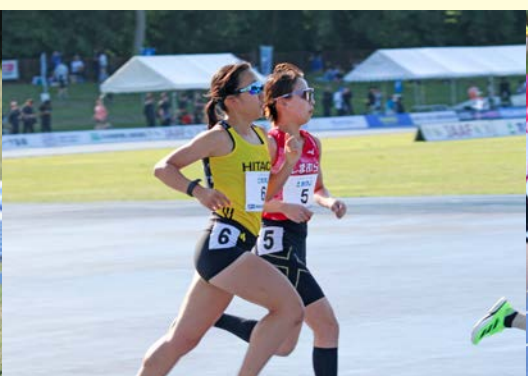
上田 雪菜

9位/16名 9分37秒94

今回の目標は 3000m を 9 分 30 秒台でまとめて走ることだったので、ひとまずそこはクリアできて良かったです。

ここから駅伝までどう上げていけるかが大切だと思うので、課題と向き合いながら着実に前に進んでいけるよう努力いたします。

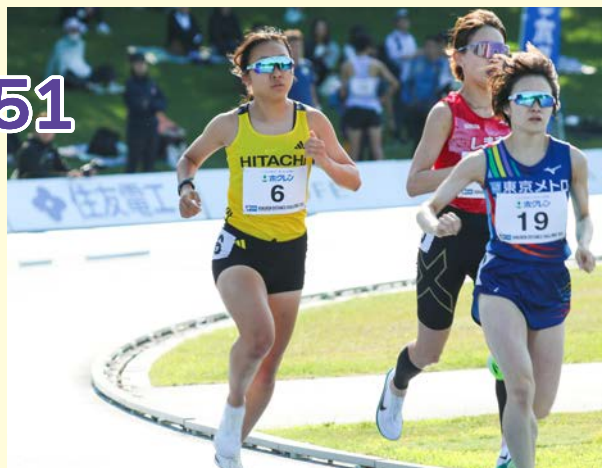
応援ありがとうございました!



中川 千愛

女子3000mA

18位/19名 9分39秒51



今大会は9分30秒切りを目標にしていたので、結果としては達成できませんでしたが、収穫のあったレースだと感じています。
今までは「結果を出さなきゃいけない……」と焦ってしまい、歯車が噛み合わないことが多くあり、自分で自分を苦しめていたと思います。しかし今回は久しぶりに、「レースってこんなに楽しいんだ」と思うことができ、自分の根本の気持ちを思い出すきっかけとなるレースになりました。
課題としては、集団の中でリズムをつくることがまだできていないので、普段の集団走などを使って、周りの人のリズムに合わせる練習にも取り組んでいきます。
当たり前にするべきことがおろそかになっていた部分もあるので、課題はたくさんありますが、まずは基本的な部分の土台をつくり、少しずつ復帰していけるよう練習に取り組んでまいります！たくさんの応援ありがとうございました！！



鈴木 樺連

女子 5000mB

22位/27名 16分35秒58



今回、自己ベスト更新をめざして準備し、レースに臨みましたが、ピーキングを合わせることができず、悔しい結果となりました。
応援してくださった方々には、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。
練習は積んでいたのですが、疲労が溜まりすぎて直前に体調を崩してしまい、自分の弱さが出たレースとなりました。
すごく悔しい気持ちが大きいので、もう一度この期間にしっかり準備し、チャレンジしたいと思います。
本当にたくさんの応援をありがとうございました。



応援ありがとうございました！

